

普及活動の成果

課題名	集落で進める継続的な鳥獣被害対策	振興局名
活動対象	継続的な鳥獣被害対策に取り組む集落	実施期間

【対象の概要】

継続的な鳥獣被害対策に取り組む11集落。
捕獲隊等の設置による捕獲体制の整備に取り組む5チーム。

【課題設定の背景】

イノシシ被害防止対策として、防護対策（防護柵設置と管理）、棲み分獲（個体数管理）の3対策に取り組むよう推進してきた。しかし、防護柵がないことから、柵の効果を継続的に発揮できていない圃場がある。また、イノシシ対策A級インストラクターの能力向上支援が必要である。

イノシシの捕獲に地域で取り組むためには、捕獲隊等の編成が必要であ
だ少なく、地域の取り組みでのイノシシ捕獲は進んでない。

【活動目標】

各市町、JA等の関係機関と連携を図りながら、イノシシ被害防止重点
選定し、重点集落指導を実施し、鳥獣被害対策（3対策：防護対策、捕
獲対策）を推進する。

A級インストラクターの資質向上のため、フォローアップ活動を行う。
地域で取り組む被害対策を推進するため、捕獲隊等編成について説明
の推進を図る。

【関係機関との連携（活動体制・役割分担）】

県北地域有害鳥獣被害防止協議会、各市町に組織されている地域協議
会を強化し、地域で取り組む鳥獣被害対策（3対策）を推進した。

【活動経過】（活動体制、指導・支援の経過と手法等）

（1）市町・JA等関係機関と被害対策検討会を行い、鳥獣被害対策事
業編成や狩猟免許取得推進、研修会の開催について検討し、重点
集落を絞りつけることができた。

（2）平成27年度に被害額の多い集落から重点集落を11集落（佐
世市2、佐々町1、小値賀町1）選定した。

選定した重点集落において、集落の代表者・その住民、市町の担当者
と連携し、集落点検、研修会、アンケート調査を実施した。

集落点検・再点検の結果をもとに研修会でMAPをともに作成し集落の
シュルツ等の維持管理などの現状把握と今後の改善点についての検討を
行った。

集落点検の成果を他集落へ普及させるために鳥獣被害対策研修会を開
催した。

（3）A級インストラクターのスキルアップを目的としたA級イン
ストラクター関係機関と打ち合わせを行い、イノシシの捕獲技術、ア
ライグマ・カニの捕獲技術（平戸市の捕獲隊の活動）について開催
した。

（4）捕獲隊等編成の必要性について、関係機関（市町）の担当者
と連携し、集落点検、研修会において検討した。

平戸市では、県単事業を活用し新規及び既存地区の強化を図るよう支
援した。

普及活動の成果

【普及活動の成果】

(1) 市町・JA等関係機関と被害対策を検討し、イノシシの捕獲個体設置数の増加、捕獲報奨金の増額に向け事業計画を変更し、鳥獣被害を減らした。

(2) イノシシ被害防止重点指導地区（11地区）において集落点検・数138名）を行い、防護柵の補修、雑草管理など防護柵の維持管理、を継続的に実施していく必要性を理解してもらった。

(3) A級インストラクタープラス講座は参加者数88名であった。多岐にわたる情報交換がなされ、イノシシ以外の鳥獣害の知識も得、鳥獣被害対策へ対応できるようになった。

(4) 集落点検・研修会により捕獲隊等編成の必要性を理解し、平戸町指定強化地区で2チームが整備された。



集落環境点検・再点検



鳥獣対策研修会



鳥獣

【対象の声】

(1) 集落点検・再点検、研修会に目的を理解したうえで参加し、現状の被害を減らした。

(2) 鳥獣被害防止対策（3対策）について、集落内への理解も進んだ。

(3) 捕獲隊の仕組みが理解できた。集落の捕獲隊に参加してみたい。

【今後の課題】

(1) 関係機関との連携、情報交換をさらに強化し、鳥獣被害対策（次年度重点地区の選定、A級インストラクターのスキルアップなど）について検討

(2) 鳥獣被害対策には、防護柵の維持管理が重要であるため、今後も集落未実施の集落を対象に、現状把握と継続的に3対策に取り組む集落の育成

(3) A級インストラクターの育成は、地域の鳥獣害対策に欠かせない対策についても知識、技術を得る研修会等を開催し、A級インストラクター

(4) 捕獲隊等編成が未整備の市町について、捕獲隊編成の必要性を今後者との検討会や集落点検、研修会等において検討・推進していく。捕獲隊に対し、設立に向け地区内における体制づくりを検討していく。

【成果の活用及び普及活動上の留意点】

発表・参考資料

様式6 (左)

県北振興局
平成28年4月～平成29年3月
け対策（生息地管理）、捕獲の設置方法や管理が適切でこれまで育成してきた地域
る。しかし、捕獲隊数はま
指導地区（11地区）を妻み分け対策、捕獲）を推
会を開催し、捕獲隊等編成
会、JA、農業共済と連携
業の計画・進捗管理、捕獲集落への被害対策指導に結
保市4、平戸市3、松浦
とともに集落点検・再点
被害状況やワイヤーメツ 子い、改善策を提案・指導
催した。
・ラクタープラス講座は、 ラスの被害対策、現地事例
り被害対策検討会や集落点
愛した。

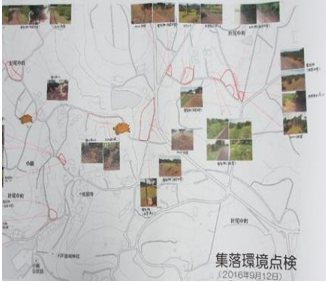
様式6 (右)

--

数の増加に伴い、箱わな
対策を進めることができ

再点検や研修会（参加者
棲み分け対策、捕獲対策

参加者間において活発な情
報の関心も高まった。
市では、新規5チーム、既



被害状況、被害対策の

把握と対策について理解し

年度の事業計画や集落点検指
示する。
集落点検・再点検、研修会の
実施を推進する。
加えて、イノシシ以外の鳥獣害
対策の技術向上を図る。
関係機関（市町）の担当
者等編成に関心を示す地区に